

## V 産業・交流

## 基本施策 18 シティプロモーション

## ◆現況と課題

- 全国的に少子高齢化の進行や地域における所得の多くを稼ぎ出している現役世代ともいえる生産年齢（15～64歳）人口の減少に伴い、域内消費の減退が懸念されており、これを補うために域外からより多くの人々を呼び込み、経済活力の維持・増進を図るため、観光を核とした地域振興に取り組む地域が増加傾向にあります。【棚卸シート「基本施策を取り巻く状況」】
- 小牧駅周辺部に広がる中心市街地は、市内でも特に人口集積の度合いが高い一方、建物の取り壊しや更地化を含めた小売店の用途転換・廃止のほか、駐車場や空き地、空き店舗などの低未利用地の存在が目立ち、中心市街地としての求心力や賑わいが低下しています。【基礎調査報告書PⅢ-59】
- 今後、自然、歴史、文化などの多彩な地域資源をさらに磨き上げ、その魅力を広く情報発信することで、まちのブランド力を高め、市内外の人的・物的交流の促進や地場製品の消費拡大、市民の愛着や誇りの醸成などの様々な相乗効果を発揮できるよう、多様な主体との連携・協力のもと、より高い実効力を伴った地域振興施策を積極的に推進する必要があります。

## ◆基本施策の目的及び体系

さまざまな地域資源を活用し、本市のブランド力を高めるとともに、本市の魅力を市内外に発信することにより、本市に「訪れたい人」「住みたい人」「住み続けたい人」を増加させます。

## 基本施策 18 シティプロモーション

展開方向1 都市のブランドイメージを構築します

展開方向2 観光推進体制を強化します

展開方向3 魅力あるイベント・まつりを開催します

展開方向4 中心市街地を訪れる人の数を増やします

展開方向5 都市間交流の推進及び国際感覚を醸成します

## ◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

| 指標名      | 単位 | 指標の説明                | 実績値   | 目標値   |
|----------|----|----------------------|-------|-------|
|          |    |                      | H24年度 | H30年度 |
| 小牧市の定住人口 | 人  | 住民基本台帳に記載された人口       | ●     | ●     |
| 小牧市の交流人口 | 人  | 観光レクリエーション利用者統計（愛知県） | ●     | ●     |

## ◆基本施策の展開方向1：都市のブランドイメージを構築します

## 【目的】

○本市が持つ豊かな自然や歴史、文化、特産品などさまざまな地域資源を活用し、ブランドブックに示す都市のブランドイメージを醸成する。

## 【手段】

- ① 市民や企業、関係団体など多様な主体と協力・連携し地域資源のブランド化に向けた推進体制を構築します。
- ② 様々な小牧の魅力をより効果的に市内外へ情報発信します。

## 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

| 指標名                                      | 単位 | 指標の説明  | 実績値   | 目標値   |
|--|----|--|-------|-------|
|  |    |  | H24年度 | H30年度 |
| 小牧市がブランドブックに示す都市のブランドイメージと合っていると感じる市民の割合 | %  | 「小牧市がブランドブックに示す都市のブランドイメージと合っている」と回答した市民の割合（アンケート調査） | ●     | ●     |

※ブランドブックは現在、策定中であり策定後、指標を置き換え予定。

## ◆基本施策の展開方向2：観光推進体制を強化します

## 【目的】

○小牧山城450年記念事業を契機として、小牧市民が自分達の住むまちに誇りと愛着を持ち、また市外からも訪れてみたいと支持されるような魅力のある都市を目指します。

## 【手段】

- ① 自然、歴史、文化などの多彩な地域資源を活用し、特色ある観光事業を推進します。
- ② 様々な媒体を活用した観光情報の発信や提供を行います。

## 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

| 指標名             | 単位 | 指標の説明                                | 実績値   | 目標値   |
|-----------------|----|--------------------------------------|-------|-------|
|                 |    |                                      | H24年度 | H30年度 |
| 主要な観光施設・資源の利用者数 | 人  | 市内の観光施設（小牧市歴史館、パークアリーナ小牧、田県神社等）の利用者数 | ●     | ●     |

## ◆基本施策の展開方向3：魅力あるイベント・まつりを開催します

## 【目的】

○イベントやまつりを通じて、市民の連帯感や地域に対する誇りを高めます。

## 【手段】

① 熱気と一体感を伴った魅力あるイベントやまつりを開催します。

## 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

| 指標名                                    | 単位 | 指標の説明   | 実績値   | 目標値   |
|--|----|---|-------|-------|
|  |    |   | H24年度 | H30年度 |
| 市が主催するイベントやまつりに参加した市民のうち、満足している市民の割合   | %  | 市が主催するイベントやまつりに参加した市民のうち「参加して満足している」と回答した市民の割合（アンケート調査） | ●     | ●     |
| 市が主催するイベントやまつりに満足している、または楽しみにしている市民の割合 | %  | 市が主催するイベントやまつりに「満足している、または楽しみにしている」と回答した市民の割合（アンケート調査）  | ●     | ●     |

## ◆基本施策の展開方向4：中心市街地を訪れる人の数を増やします

## 【目的】

○小牧駅周辺に広がる中心市街地への来街者数を増やし、まちに賑わいを呼び起こします。

## 【手段】

①ハード・ソフトの両面から、来街者が快適で安心して買物・イベントなどを楽しめる環境づくりを推進します。

## 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

| 指標名                  | 単位 | 指標の説明                                | 実績値   | 目標値   |
|----------------------|----|--------------------------------------|-------|-------|
|                      |    |                                      | H24年度 | H30年度 |
| 中心市街地が賑わっていると思う市民の割合 | %  | 「中心市街地が賑わっていると思う」と回答した市民の割合（アンケート調査） | ●     | ●     |
| 中心市街地の主要な施設の利用者数     | 人  | 子育て広場、絵本図書館、観光案内所の利用者数               | ●     | ●     |

## ◆基本施策の展開方向5：都市間交流の推進及び国際感覚を醸成します

## 【目的】

- 国際社会を生きるための幅広い視野と豊かな人間性を育みます。
- 国籍の異なる市民同士が地域社会の一員として支えあう多文化共生社会を形成します。

## 【手段】

- ①今後も引き続き、児童・生徒を中心に姉妹都市や友好都市との交流事業を推進します。
- ②国籍・民族・文化・言葉などお互いの「ちがい」を学ぶ機会を充実させるとともに、外国人市民と交流がしやすい環境づくりを推進します。
- ③パークアリーナ小牧を拠点として活動する海外名門クラブチームによるサッカー教室や大会を開催し、子どもたちが世界のレベルに触れたり交流できる環境をつくります。
- ④海外留学のための奨学金制度を創設し、子どもたちが海外を実際に体験できるよう支援します。

## 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

| 指標名                | 単位 | 指標の説明                             | 実績値   | 目標値   |
|--------------------|----|-----------------------------------|-------|-------|
|                    |    |                                   | H24年度 | H30年度 |
| 小牧市は国際都市だと感じる市民の割合 | %  | 「小牧市は国際都市だと思う」と回答した市民の割合（アンケート調査） | ●     | ●     |
| 国際交流事業などへの年間参加者数   | 人  | 国際交流協会が実施する各種講座やイベントへの参加者数        | ●     | ●     |

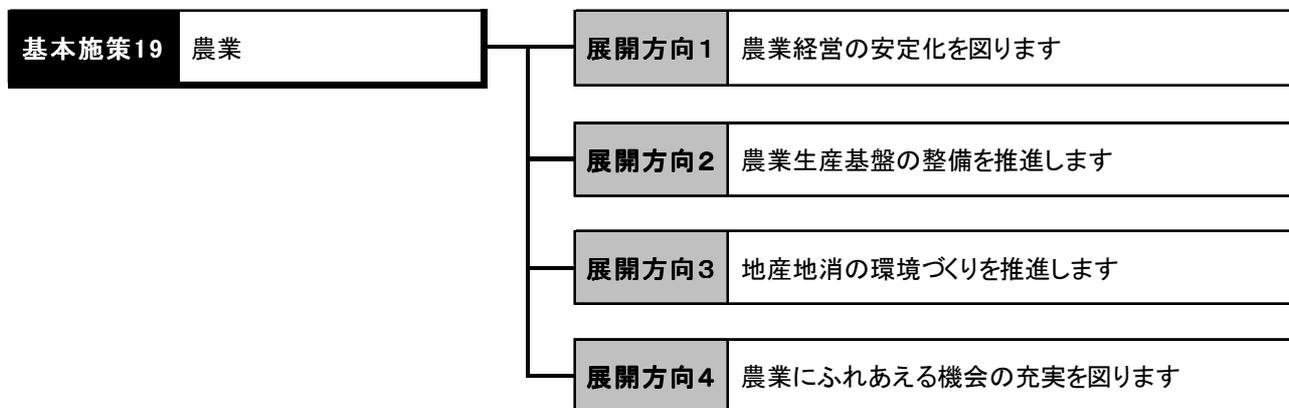
基本施策 19 農業

◆現況と課題

- 先進国の中では、食料自給率が最低水準にあるとされる我が国<sup>1</sup>では、異常気象による主要生産国の減産をはじめ、各種の食料安全保障上のリスクに直面しています。このような状況下、国内の農業生産増大を図ることを基本に、これと輸入を適切に組み合わせながら、食料の安定供給の確保を図ることが我が国全体の重要な政策課題の1つとなっています。【棚卸シート「基本施策を取り巻く状況」】
- 自動車産業に代表されるものづくりの中心地として知られる愛知県は、平成22(2010)年の農業算出額が2,962億円で全国第6位と、国内有数の「農業県」としての性格を併せ持っています。小牧市でも、桃やぶどう、いちじくなど果物の生産が盛んであり、特に「しのおかの桃」は全国的にも名高い逸品として知られていますが、近年、全国的な傾向と同様に、従事者の高齢化や後継者不足による離農が続いています。【同上】
- 安全・安心な農産物の提供、地産地消を通じた食育の推進、ゆとりや潤いを醸し出す良好な地域環境保全など、農業・農地が担っている多面的な役割が将来にわたって適切に発揮されるよう、地域ぐるみで農業を支える必要があります。【同上】

◆基本施策の目的及び体系

市民の農業に対する理解を深めるとともに、安定した農業経営と農業生産基盤の維持・向上を図り、優良な農地を保全します。



<sup>1</sup> 「平成24年度食料・農業・農村白書（農林水産省）」によると、平成21(2009)年の我が国の食料自給率（供給熱量ベース）は40%であり、米国（130%）の約3割程度、また、日本と同様に食料の多くを輸入している韓国（50%）やスイス（56%）を下回っているとされている。

## ◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

| 指標名                | 単位 | 指標の説明                  | 実績値    | 目標値    |
|--------------------|----|------------------------|--------|--------|
|                    |    |                        | H24 年度 | H30 年度 |
| 農家 1 戸当たり生産農業販売実績額 | 千円 | J A尾張中央組員 1 戸当たりの販売実績額 | ●      | ●      |
| 耕作放棄地の面積           | ha | 同左                     | ●      | ●      |

## ◆基本施策の展開方向 1：農業経営の安定化を図ります

## 【目的】

○地域農業の担い手を育成・確保し、効率的で安定的な農業経営を促進します。

## 【手段】

- ①新規就農者や農業後継者に対する支援を推進します。
- ②「小牧市 人・農地プラン（地域農業マスタープラン）<sup>2</sup>」に地域の中心となる経営体として位置付けた農業者を増やします。
- ③ヌートリア、アライグマ、カラスなどに対する防除事業を推進します。

## 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

| 指標名      | 単位 | 指標の説明                   | 実績値    | 目標値    |
|----------|----|-------------------------|--------|--------|
|          |    |                         | H24 年度 | H30 年度 |
| 新規農業就業者数 | 人  | 同左（累計）<br>（小牧市 人・農地プラン） | ●      | ●      |
| 認定農業者数   | 戸  | 同左<br>（小牧市 人・農地プラン）     | ●      | ●      |

## ◆基本施策の展開方向 2：農業生産基盤の整備を推進します

## 【目的】

○食料生産に不可欠な農業用水を効率的・安定的に確保する。

## 【手段】

- ①かんがい用施設の整備を推進します。
- ②ため池の適切な整備を図ることにより、良好な営農活動を行うのに必要な農業用水の安定的供給を確保します。
- ③林道整備や森林病虫害の防除を計画的に推進する。

<sup>2</sup> 担い手問題や農地集積など、当該地域が抱える農業の問題点について、行政と地域が共に考え、解決策を導き出し、今後も地域の農業が継続できるようにすることを目的としたプラン。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

| 指標名            | 単位 | 指標の説明      | 実績値   | 目標値   |
|----------------|----|------------|-------|-------|
|                |    |            | H24年度 | H30年度 |
| かんがい用施設整備の受益面積 | ha | 受益地内の水田の面積 | ●     | ●     |

◆基本施策の展開方向3：地産地消の環境づくりを推進します

【目的】

○生産者と消費者の交流を促進するとともに、地元農産物の域内消費の拡大を図ります。

【手段】

- ①より多くの市民が地元で生産された新鮮な農産物を入手できる機会の充実を図ります。
- ②農業祭（いきいきこまき）などのイベントや催し物の開催を通じた地元農産物利用のPRや、食文化の伝承活動を推進します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

| 指標名                            | 単位 | 指標の説明  | 実績値   | 目標値   |
|--------------------------------|----|--|-------|-------|
|                                |    |  | H24年度 | H30年度 |
| 身近な地域で採れた農産物を食べるように心がけている市民の割合 | %  | 「身近な地域で採れた農産物を食べるように心がけている」と回答した市民の割合（アンケート調査） | ●     | ●     |
| 地産地消をテーマとしたイベントや催し物への参加者数      | 人  | 農業祭の来場者数                                       | ●     | ●     |

◆基本施策の展開方向4：農業にふれあえる機会の充実を図ります

【目的】

○農業・農地が担っている多面的な役割に対する市民の理解を深め、地域ぐるみで農業を守り支えていく活動につなげていきます。

【手段】

- ①市民菜園事業や農業体験事業などを通じ、市民が農業とふれあえる機会の充実を図ります。
- ②地域の共同活動を支援することにより農地等の保全管理の向上を図ります。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

| 指標名         | 単位             | 指標の説明 | 実績値   | 目標値   |
|-------------|----------------|-------|-------|-------|
|             |                |       | H24年度 | H30年度 |
| 市民菜園の利用面積   | m <sup>2</sup> | 同左    | ●     | ●     |
| 農業体験事業の参加者数 | 人              | 同左    | ●     | ●     |

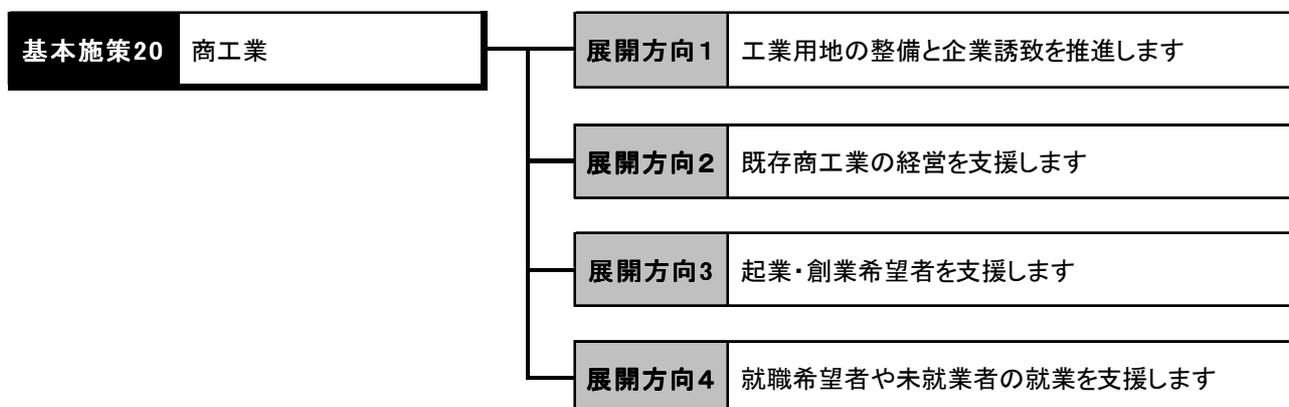
## 基本施策 20 商工業

## ◆現況と課題

- 平成 25 (2013) 年 6 月、政府は日本経済の再生に向けた「3本の矢」のうち、3本目の矢である成長戦略「日本再興戦略－JAPAN is BACK－」を閣議決定しています。「日本再興戦略」では、第1の矢「大胆な金融政策」、第2の矢「機動的な財政政策」を受け、成長実現に向けた具体的な取組として「日本産業再興プラン」「戦略市場創造プラン」「国際展開戦略」の3つのアクションプランを掲げています。【首相官邸（日本経済再生本部）HPより】
- 小牧市では、市の強みや特性を活かした産業の集積・形成などを図るにあたり、産業支援、創業支援及び企業立地のあり方について議論し、戦略的な産業振興施策の立案とその推進を実践するため、平成 24 (2012) 年 3 月から「産業立地戦略会議」を開催しています。【棚卸シート「基本施策を取り巻く状況」】
- 小牧市が都市としての経済活力をさらに高めるためには、国の動向を注視しつつ、広域交通網の結節点に位置する地理的優位性を活かし、市外からより多くの人と企業を呼び込むことともに、既存企業の活性化や就労対策の強化などを通じ、地域の中でより活発な経済循環が生み出される強固な産業構造を構築する必要があります。【基礎調査報告書 P I - 5】

## ◆基本施策の目的及び体系

市外からより多くの人と企業を呼び込み、雇用の拡大にも結び付くよう、小牧市の強みや特性を活かしながら、バランスのとれた足腰の強い産業構造を構築します。



## ◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

| 指標名                   | 単位 | 指標の説明                                | 実績値   | 目標値   |
|-----------------------|----|--------------------------------------|-------|-------|
|                       |    |                                      | H24年度 | H30年度 |
| 小牧市が先進的産業都市だと感じる市民の割合 | %  | 「小牧市が先進的産業都市だと思う」と回答した市民の割合（アンケート調査） | ●     | ●     |
| 市内総生産額の県内順位           | 位  | 工業統計調査                               | ●     | ●     |
| 従業員者数                 | 人  | 商業統計及び工業統計（従業員4人以上の製造業の事業所）の合計人数     | ●     | ●     |

## ◆基本施策の展開方向1：工業用地の整備と企業誘致を推進します

## 【目的】

○市内への企業誘致や投資を促進するとともに、新たな成長産業を育成・誘致します。

## 【手段】

- ①新たな工業用地の確保、各種規制の見直しによる企業ニーズを踏まえた立地環境の向上を図ります。
- ②航空宇宙産業分野に参入している、参入に関心のある企業に対する支援を推進します。

## 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

| 指標名                 | 単位 | 指標の説明                | 実績値   | 目標値   |
|---------------------|----|----------------------|-------|-------|
|                     |    |                      | H24年度 | H30年度 |
| 新規進出企業の累計数          | 件  | 新たに市内に立地した製造業事業所の累計数 | ●     | ●     |
| 1事業所当たり製造品出荷額等の県内順位 | 位  | 工業統計調査               | ●     | ●     |

## ◆基本施策の展開方向2：既存商工業の経営を支援します

## 【目的】

- 地域経済を支える中小企業の経営基盤の安定と成長を促進します。
- 地元商店街における集客力の向上と消費の拡大を促進します。

## 【手段】

- ①中小企業に対し、各種の補助事業を通じた支援や融資を受ける際の負担軽減を図ります。
- ②小売業者や商業団体などが実施する事業を支援するとともに、プレミアム商品券事業を推進し、加盟店の集客力の向上に貢献します。

## 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

| 指標名                       | 単位 | 指標の説明  | 実績値   | 目標値   |
|---------------------------|----|--|-------|-------|
|                           |    |  | H24年度 | H30年度 |
| これからも小牧市で操業を続けたいと思う事業者の割合 | %  | 市内の既存事業所のうち「これからも小牧市で操業を続けたいと思う」と回答した経営者の割合（アンケート調査） | ●     | ●     |

## ◆基本施策の展開方向3：起業・創業希望者を支援します

## 【目的】

○市内で新たに起業、創業を行おうとする人々への支援をします。

## 【手段】

①セミナー等を通じて起業、創業希望者に対して必要とされる基本的知識等の提供を行います。

## 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

| 指標名      | 単位 | 指標の説明                            | 実績値   | 目標値   |
|----------|----|----------------------------------|-------|-------|
|          |    |                                  | H24年度 | H30年度 |
| 起業（創業）者数 | 人  | 創業支援セミナーの受講者のうち実際に起業（創業）した人数（累計） | ●     | ●     |

## ◆基本施策の展開方向4：就職希望者や未就労者の就業を支援します

## 【目的】

○ふるさとハローワークなどの関係機関との連携・協力のもと、市民の就労を支援します。

○市内中小企業で働く人々の福利厚生を支援します。

## 【手段】

①様々な媒体を活用した求人情報の提供や職業相談、職業紹介などを通じ、就職希望者や未就労者の就労を促進します。

②「小牧勤労センター」の運営を通じ、各種福利厚生サービスの提供を推進します。

## 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

| 指標名  | 単位 | 指標の説明                   | 実績値   | 目標値   |
|------|----|-------------------------|-------|-------|
|      |    |                         | H24年度 | H30年度 |
| 就職者数 | 人  | ふるさとハローワークを活用して実際に就職した数 | ●     | ●     |